2026年９月期　決算短信〔ＩＦＲＳ〕(連結)

2026年11月６日

上 場 会 社 名　　株式会社FOOD & LIFE COMPANIES　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　3563　　ＵＲＬ　https://www.food-and-life.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 山本　雅啓
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員　　(氏名) 吉田　剛　　(TEL) 06-6368-1001

定時株主総会開催予定日　2026年12月22日　　配当支払開始予定日　2026年12月23日
有価証券報告書提出予定日　2026年12月21日

決算補足説明資料作成の有無　　：　有

決算説明会開催の有無　　：　有　(機関投資家・アナリスト向け　)

(百万円未満四捨五入)

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	515,334	26.9	51,506	47.0	49,080	49.9	37,582	52.7	35,380	54.2	39,270	53.2
2025年９月期	406,149	―	35,036	―	32,752	―	24,609	59.3	22,937	56.7	25,638	73.9

	調整後EBITDA		基本的１株当たり当期利益	希薄化後１株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分当期利益率	資産合計税引前利益率	売上収益営業利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	72,498	43.3	155.82	153.94	31.4	11.5	10.0
2025年９月期	50,594	―	101.35	99.99	26.9	8.6	8.6

(注) １．当社は、2026年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的１株当たり当期利益及び希薄化後１株当たり当期利益を算定しております。
２．当社は、2026年８月７日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社京樽の全株式をSRSホールディングス株式会社に譲渡することを決議し、同日に株式譲渡契約を締結の上、2026年９月１日に株式譲渡を完了いたしました。これに伴い、同社が運営する京樽事業を非継続事業に分類しており、当連結会計年度及び前連結会計年度の売上収益、営業利益及び税引前利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。そのため、前期の対前期増減率は記載しておりません。

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	１株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	458,126	137,080	131,877	28.4	571.54
2025年９月期	398,596	100,902	97,869	24.0	422.81

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	87,474	△41,219	△32,700	73,336
2025年９月期	64,429	△25,436	△29,235	58,822

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	親会社所有者帰属持分配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	―	0.00	―	35.00	35.00	3,964	17.3	4.6
2026年９月期	―	0.00	―	20.00	20.00	4,546	12.8	4.0
2027年９月期(予想)	―	0.00	―	22.50	22.50		―	

(注) １．前連結会計年度の年間配当額は、下記株式分割が同年度期首に行われたと仮定すると、17.5円となります。
２．当社は、2026年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。
2026年９月期の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。
３．詳細は、添付資料６ページ「１．経営成績等の概況（４）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」をご覧ください。

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後EBITDA		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	610,000	18.4	87,000	20.0	61,300	19.0	39,000	10.2	171.57

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　：　有

除外　　２社（社名） 株式会社京樽、株式会社関山

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　有

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	232,138,368株	2025年９月期	232,138,368株
②　期末自己株式数	2026年９月期	4,825,086株	2025年９月期	5,629,262株
③　期中平均株式数	2026年９月期	227,061,187株	2025年９月期	226,304,226株

当社は、2026年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

（４）各種指標の算式

指標	算式
調整後EBITDA	営業利益＋減価償却費及び償却費(使用権資産の減価償却費を除く)＋減損損失

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（１）当期の経営成績の概況②次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 ……2
（１）当期の経営成績の概況 ……2
（２）当期の財政状態の概況 ……4
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 ……5
（４）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 ……6
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 ……6
３．連結財務諸表及び主な注記 ……7
（１）連結財政状態計算書 ……7
（２）連結損益計算書 ……8
（３）連結包括利益計算書 ……9
（４）連結持分変動計算書 ……10
（５）連結キャッシュ・フロー計算書 ……11
（６）連結財務諸表に関する注記事項 ……12
（継続企業の前提に関する注記） ……12
（会計上の見積りの変更） ……12
（セグメント情報） ……12
（販売費及び一般管理費） ……15
（１株当たり情報） ……15
（重要な後発事象） ……15

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

①　当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、賃上げの浸透による経済の好循環への期待が高まる一方で、世界的な政情不安や円安の長期化に伴う物価上昇を背景に実質賃金は伸び悩んでおり、消費者の生活防衛意識の高まりから、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、原材料価格の高騰やエネルギー価格の不透明感に加え、慢性的な人手不足に伴う人件費や物流費の上昇などにより、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、日々の食を美味しくすることで、お客さまの生活や人生までゆたかにしたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に取り組んでまいりました。

当社は、2026年８月７日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社京樽の全株式をSRSホールディングス株式会社に譲渡することを決議し、同日に株式譲渡契約を締結の上、2026年９月１日に株式譲渡を完了しました。これに伴い、京樽事業を非継続事業に分類しております。

当社グループの当期の業績は、非継続事業を除いた継続事業の数値を中心に報告いたします。

また、業態別店舗数は以下のとおりです。

［当社グループ業態別店舗数］

業態名	前連結会計年度末	出店実績	閉店実績	連結除外	当連結会計年度末
国内：スシローブランド（テイクアウト専門店）	667(8)	14	9(7)	1(1)	671(－)
国内：杉玉ブランド(FC)	95(17)	11(8)	－	－	106(25)
国内：京樽ブランド	100(－)	2	20	82	－(－)
国内：回転寿司みさき・三崎丸ブランド	87(－)	－	2	85	－(－)
国内：その他ブランド	15(－)	－	6	9	－(－)
国内合計	964(25)	27(8)	37(7)	177(1)	777(25)
海外：スシローブランド（テイクアウト専門店）	227(－)	108(1)	1	－	334(1)
海外：その他ブランド	7(－)	－	1	－	6(－)
海外合計	234(－)	108(1)	2(－)	－(－)	340(1)
国内外合計	1,198(25)	135(9)	39(7)	177(1)	1,117(26)

(　)内は内数でテイクアウト専門店・FCの店舗数

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上収益515,334百万円(前連結会計年度比26.9％増)、営業利益51,506百万円(前連結会計年度比47.0％増)、税引前利益49,080百万円(前連結会計年度比49.9％増)、親会社の所有者に帰属する当期利益35,380百万円(前連結会計年度比54.2％増)となり、売上・利益共に、連結会計年度として過去最高を更新いたしました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(国内スシロー事業)

国内スシロー事業では、「すしに真っすぐ！」をテーマに、創業以来スシローがこだわり続けた美味しさにしっかりと向き合い、お客さまにご満足いただける商品の提供やキャンペーンの実施に取り組みました。

７月22日より、スシローのこだわりのネタをよりおいしく味わっていただきたいという想いから、店内で丁寧に１枚ずつ切りつけたネタを、スシロー特製の蒲焼だれでふっくら香ばしく焼き上げた「大切りうなぎ」（税込110円～）や、大切りならではのほどよい脂と旨みを存分に味わえる「大切りサーモン」（税込110円～）などを販売いたしました。また、８月５日より夏もおすしをお手ごろな価格で楽しんでいただけるよう、とろける脂が魅力の「大とろ」（税込110円～）や、とろサーモンを大満足のボリュームで味わえる「ジャンボとろサーモン」（税込110円～）などを販売いたしました。さらに、７月29日からの約１か月間、世界中で愛される「かわいい」が魅力の「ハローキティ」と『KAWAUMA HELLO KITTY』をテーマに初のコラボを実施し、コラボ限定ピック付きのおすしやコラボ限定マスコット付きのソフトドリンクなどを販売いたしました。また、国内５店舗（東京、神奈川、愛知、大阪、福岡）で「ハローキティ」の世界観を楽しめるスペシャルコラボ店舗を展開するなど、スシローでおすしをお楽しみいただくことはもちろん、おすしと一緒に楽しめるコンテンツの提供も継続して実施いたしました。

以上の結果、国内スシロー事業の売上収益は293,717百万円（前連結会計年度比10.5％増）、セグメント利益は20,227百万円（前連結会計年度比12.3％増）となりました。

(海外スシロー事業)

海外スシロー事業では、過去最大級の出店ペースを維持し、着実に事業の拡大を進めております。中国大陸では８月に「青島万象城店」、９月に「青島嶗山万象彙店」をオープンし、青島市へ初出店いたしました。また、８月に「石家荘万象城店」をオープンし 河北省エリアへも初進出をいたしました。台湾では８月に「新光三越台南新天地店」をオープンし、60店舗を達成いたしました。タイでは９月に「Siam Square One」をオープンし、50店舗を達成いたしました。50店舗の節目において、フォトブースや体験型コンテンツを導入した記念イベントを開催し、日頃のご愛顧への謝意をお伝えするとともに、お客さまとのコミュニケーションを深める機会を創出いたしました。

夏季から秋季にかけては更なる来客数拡大を目指した戦略的な販促・マーケティング施策を展開いたしました。香港では「プロジェクトセカイ カラフルステージ！ feat. 初音ミク」とのコラボを展開いたしました。一部の店舗では等身大パネルやテーブル装飾が施され、フォトスポットとしてもお楽しみいただきました。台湾では「にしむらゆうじ」や「ジョジョの奇妙な冒険」とのコラボを展開、コラボならではの演出や世界観を通じて、お客さまに特別な体験をお届けいたしました。シンガポールでは、７周年となる「創業祭」を開催し「とろサーモン」「大切りメカジキとろ」を販売したほか、「ポケモン」とのコラボを実施し、お客さまの体験価値向上を図りました。

以上の結果、海外スシロー事業の売上収益は212,856百万円（前連結会計年度比62.0％増）、セグメント利益は27,539百万円（前連結会計年度比68.4％増）となりました。

（国内杉玉事業）

大衆寿司居酒屋「鮨・酒・肴 杉玉」は、FOOD & LIFE COMPANIESの強みを最大限に活かし、鮮度・味・見た目にこだわったお寿司や、居酒屋ならではの一品料理、そしてお食事に最適なお酒を提供しております。ブランド創設10年目に入り、国内総店舗数は100店舗を超え、直営・フランチャイズの両輪で更なる店舗ネットワークの拡大に取り組んでおります。お客さまに木目を基調としたこだわりの内装と空間でのお食事を十分にご堪能いただけるような販促キャンペーンも継続的に実施しております。

８月には、お盆期間に合わせて濃厚なコクと滑らかな食感が特徴の「天然インド鮪の赤身（天身）」を特別価格でご提供するキャンペーンを実施し、約１か月半にわたり多くのお客さまにお求めやすい価格でお楽しみいただきました。また、同月より開催した「夏のやりすぎ玉」フェアでは、昨年ご好評いただいた「そびえ立つ、海老フライカツ」を期間限定で再販売いたしました。さらに、９月には５月に実施し大変好評をいただいた「ボトルキープ祭り」を再度開催し、人気のお酒をお値打ち価格で提供いたしました。

以上の結果、国内杉玉事業の売上収益は8,789百万円（前連結会計年度比6.1％増）、セグメント利益は378百万円（前連結会計年度比170.8％増）となりました。

② 次期の見通し

売上収益につきましては610,000百万円(前連結会計年度比18.4％増)、調整後EBITDA87,000百万円(前連結会計年度比20.0％増)、営業利益につきましては61,300百万円(前連結会計年度比19.0％増)、親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては39,000百万円(前連結会計年度比10.2％増)を見込んでおります。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ59,530百万円増加し、458,126百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ30,196百万円増加し、118,591百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が14,514百万円増加したこと等によるものであります。

非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ29,334百万円増加し、339,534百万円となりました。これは主に、有形固定資産が28,157百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ23,352百万円増加し、321,046百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ34,577百万円増加し、119,433百万円となりました。これは主に、社債及び借入金が20,000百万円増加したことによるものであります。

非流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ11,224百万円減少し、201,613百万円となりました。これは主に、社債及び借入金が23,987百万円減少した一方で、リース負債が8,518百万円増加したこと等によるものであります。

（資本）

資本合計は、前連結会計年度末に比べ36,178百万円増加し、137,080百万円となりました。これは主に、配当金の支払により3,964百万円減少した一方で、親会社の所有者に帰属する当期利益の計上により35,380百万円増加したこと等によるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ14,514百万円増加し、73,336百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、87,474百万円(前連結会計年度比35.8%増)となりました。

これは主に、税引前利益49,080百万円、減価償却費及び償却費45,442百万円、営業債務及びその他の債務の増加が4,873百万円あった一方で、営業債権及びその他の債権の増加が6,078百万円、法人所得税の支払額が10,596百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、41,219百万円(前連結会計年度比62.1%増)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が33,408百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、32,700百万円(前連結会計年度比11.9%増)となりました。

これは主に、リース負債の返済による支出が25,075百万円、長期借入金の返済による支出が4,009百万円あったこと等によるものであります。

(参考)　キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期
親会社所有者帰属持分比率(%)	20.5	24.0	28.4
時価ベースの親会社所有者帰属持分比率(%)	89.2	219.8	254.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	385.1	339.4	259.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	28.1	24.7	26.6

(注)　親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分／資産合計
時価ベースの親会社所有者帰属持分比率：株式時価総額／資産合計
キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い
※　各指標はいずれもIFRSに基づく連結ベースの財務数値により計算しております。
※　株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
※　キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結財政状態計算書上に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いは連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（４）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけており、恒常的な業績向上と業績に応じた適正な利益配分を継続的に実施することを基本方針とし、配当については、安定的に実施することを基礎とし、業績及び内部留保の充実等を総合的に勘案しながら、業績に連動した年１回の剰余金配当を実施する方針です。

内部留保資金については、経営基盤の強化に向けた諸施策の実施のための積極的な投資等の原資として充当してまいります。

上記の基本方針を踏まえ、当連結会計年度における業況及び株主の皆様に対する還元のバランスを総合的に勘案した結果、当期の期末配当につきましては、１株当たり20.00円とさせていただきます。

次期の配当につきましては、添付資料４ページに記載の次期の見通しの達成を前提として、１株当たり年間22.50円を予定しております。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2016年９月期より国際会計基準(IFRS)を適用しております。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	58,822	73,336
営業債権及びその他の債権	15,284	20,449
棚卸資産	10,242	12,416
その他の金融資産	690	8,392
その他の流動資産	3,357	3,998
流動資産合計	88,396	118,591
非流動資産		
有形固定資産	203,820	231,976
のれん	30,371	30,371
無形資産	57,002	57,057
持分法で会計処理されている投資	52	52
敷金及び保証金	15,795	15,941
その他の金融資産	801	476
繰延税金資産	1,664	2,571
その他の非流動資産	694	1,089
非流動資産合計	310,200	339,534
資産合計	398,596	458,126
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	42,091	47,040
社債及び借入金	4,009	24,009
未払法人所得税	4,926	8,007
リース負債	21,685	25,240
その他の金融負債	1,339	1,415
引当金	4,381	5,587
その他の流動負債	6,426	8,136
流動負債合計	84,857	119,433
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	22	7
社債及び借入金	76,519	52,532
リース負債	116,447	124,965
その他の金融負債	100	102
引当金	5,462	9,014
繰延税金負債	14,287	14,993
非流動負債合計	212,837	201,613
負債合計	297,694	321,046
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	15,806	15,570
利益剰余金	85,355	116,772
自己株式	△8,749	△7,499
その他の資本の構成要素	5,357	6,934
親会社の所有者に帰属する持分合計	97,869	131,877
非支配持分	3,032	5,203
資本合計	100,902	137,080
負債及び資本合計	398,596	458,126

（２）連結損益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
継続事業		
売上収益	406,149	515,334
売上原価	△174,775	△223,094
売上総利益	231,374	292,240
販売費及び一般管理費	△196,196	△241,177
その他の収益	1,102	1,625
その他の費用	△1,244	△1,182
営業利益	35,036	51,506
金融収益	411	921
金融費用	△2,695	△3,347
税引前利益	32,752	49,080
法人所得税費用	△9,320	△13,265
継続事業からの当期利益	23,432	35,815
非継続事業		
非継続事業からの当期利益	1,177	1,766
当期利益	24,609	37,582
当期利益の帰属		
親会社の所有者	22,937	35,380
非支配持分	1,672	2,202
当期利益	24,609	37,582
１株当たり当期利益		
基本的１株当たり当期利益（円）		
継続事業	96.17	148.04
非継続事業	5.19	7.78
基本的１株当たり当期利益	101.35	155.82
希薄化後１株当たり当期利益（円）		
継続事業	94.87	146.26
非継続事業	5.12	7.69
希薄化後１株当たり当期利益	99.99	153.94

（３）連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
当期利益	24,609	37,582
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	△307	△46
確定給付制度の再測定	―	1
純損益に振り替えられることのない項目合計	△307	△45
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,336	1,733
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	1,336	1,733
税引後その他の包括利益	1,029	1,688
当期包括利益	25,638	39,270
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	23,855	37,099
非支配持分	1,783	2,171
当期包括利益	25,638	39,270

（４）連結持分変動計算書

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2024年10月１日時点の残高	100	15,734	65,818	△9,156	4,073	76,568	1,269	77,837
当期利益			22,937			22,937	1,672	24,609
その他の包括利益					918	918	111	1,029
当期包括利益合計	－	－	22,937	－	918	23,855	1,783	25,638
自己株式の処分		69		408	△131	345		345
自己株式の取得				△1		△1		△1
新株予約権の失効		21			△21	－		－
株式に基づく報酬取引					513	513		513
配当金			△3,394			△3,394		△3,394
利益剰余金への振替			△6		6	－		－
連結子会社株式の取得による持分の増減		△17				△17	△20	△37
所有者との取引額合計	－	72	△3,399	407	366	△2,554	△20	△2,574
2025年９月30日時点の残高	100	15,806	85,355	△8,749	5,357	97,869	3,032	100,902
当期利益			35,380			35,380	2,202	37,582
その他の包括利益					1,719	1,719	△31	1,688
当期包括利益合計	－	－	35,380	－	1,719	37,099	2,171	39,270
自己株式の処分		△449		1,250	△449	351		351
自己株式の取得				△0		△0		△0
新株予約権の失効		325			△325	－		－
株式に基づく報酬取引		△113			634	521		521
配当金			△3,964			△3,964		△3,964
利益剰余金への振替			1		△1	－		－
所有者との取引額合計	－	△237	△3,963	1,250	△142	△3,092	－	△3,092
2026年９月30日時点の残高	100	15,570	116,772	△7,499	6,934	131,877	5,203	137,080

（５）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	32,752	49,080
非継続事業からの税引前利益	1,025	1,160
減価償却費及び償却費	35,776	45,442
減損損失	1,213	479
金融収益	△407	△926
金融費用	2,723	3,382
賞与引当金の増減額（△は減少）	△858	1,238
敷金及び保証金の家賃相殺額	264	－
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△982	△6,078
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,720	△2,207
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	6,287	4,873
その他	1,013	4,221
小計	75,086	100,665
利息及び配当金の受取額	213	340
利息の支払額	△2,613	△3,290
法人所得税の支払額	△8,257	△10,596
法人所得税の還付額	0	355
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,429	87,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,177	△33,408
有形固定資産の売却による収入	13	16
無形資産の取得による支出	△1,161	△1,345
定期預金の預入による支出	△2,323	△7,966
定期預金の払戻による収入	4,456	914
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△1,999	△2,325
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	－	2,707
その他	754	189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,436	△41,219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△5,000	－
社債の発行による収入	4,974	－
長期借入金の返済による支出	△4,009	△4,009
リース負債の返済による支出	△22,117	△25,075
支払手数料の支払による支出	△15	△16
自己株式の取得による支出	△1	△0
新株予約権の行使による収入	347	351
配当金の支払額	△3,388	△3,974
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△37	－
その他	12	23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,235	△32,700
現金及び現金同等物の増加額	9,759	13,556
現金及び現金同等物の期首残高	48,695	58,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	368	958
現金及び現金同等物の期末残高	58,822	73,336

（６）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

資産除去債務の見積り額の変更

当連結会計年度において、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、昨今の諸物価の変動に伴い原状回復費用の見積りの変更を行いました。

この見積りの変更により、3,396百万円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、当該見積りの変更により、当連結会計年度の営業利益及び税引前利益は、それぞれ1,524百万円減少しております。

（セグメント情報）

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主に事業別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントに含まれる主要ブランドは以下のとおりであります。

国内スシロー事業：国内で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

海外スシロー事業：海外で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

国内杉玉事業　　：株式会社FOOD & LIFE INNOVATIONS が運営する全ブランド(主要ブランド「杉玉」)

その他事業　　：スシロー未来型万博店及び商品在庫の外部販売

（注）当社は、2026年８月７日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社京樽の全株式をSRSホールディングス株式会社に譲渡することを決議し、同日に株式譲渡契約を締結の上、2026年９月１日に株式譲渡を完了しました。これに伴い、京樽事業を非継続事業に分類しております。

(2) 報告セグメント売上収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりです。

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額合計(注)２	連結合計
	国内スシロー事業	海外スシロー事業	国内杉玉事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	265,903	131,420	8,153	674	406,149	―	406,149
セグメント間収益	―	3	131	―	134	△134	―
計	265,903	131,422	8,284	674	406,283	△134	406,149
セグメント利益又は損失(△は損失)(注)１	18,008	16,355	140	△366	34,137	900	35,036
その他の項目							
減価償却費及び償却費	17,840	14,202	907	10	32,959	1,111	34,070
減損損失	112	698	108	―	917	68	986

(注) １．セグメント利益又は損失は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
２．セグメント利益又は損失の調整額900百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額合計(注)２	連結合計
	国内スシロー事業	海外スシロー事業	国内杉玉事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	293,717	212,855	8,669	93	515,334	―	515,334
セグメント間収益	―	1	120	―	121	△121	―
計	293,717	212,856	8,789	93	515,455	△121	515,334
セグメント利益又は損失(△は損失)(注)１	20,227	27,539	378	△23	48,121	3,385	51,506
その他の項目							
減価償却費及び償却費	21,000	20,752	995	3	42,751	591	43,342
減損損失	173	209	46	―	428	―	428

(注) １．セグメント利益又は損失は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
２．セグメント利益又は損失の調整額3,385百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

(3) 製品及びサービス別に関する情報

当社グループは単一の製品及びサービスを販売しているため、製品及びサービス別の売上収益の記載を省略しております。

(4) 地域別に関する情報

売上収益及び非流動資産の地域別内訳は以下のとおりです。

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

①外部顧客への売上収益

(単位：百万円)

日本	中国	海外その他	合計
274,729	29,184	102,236	406,149

②非流動資産（金融商品、繰延税金資産及び保険契約から生じる権利を除く）

(単位：百万円)

日本	中国	海外その他	合計
241,022	13,328	53,333	307,682

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

①外部顧客への売上収益

(単位：百万円)

日本	中国	海外その他	合計
302,479	79,858	132,996	515,334

②非流動資産（金融商品、繰延税金資産及び保険契約から生じる権利を除く）

(単位：百万円)

日本	中国	海外その他	合計
237,606	40,190	58,639	336,435

(5) 主要な顧客に関する情報

当社グループの売上収益の10%以上を占める単一の外部顧客は存在しないため、記載を省略しております。

(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日)	当連結会計年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日)
従業員給付費用	108,036	134,423
減価償却費及び償却費	34,061	43,940
水道光熱費	9,663	10,753
その他	44,436	52,061
合計	196,196	241,177

(１株当たり情報)

	前連結会計年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日)	当連結会計年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益(百万円)	22,937	35,380
継続事業	21,763	33,614
非継続事業	1,174	1,766
基本的期中平均普通株式数(株)	226,304,226	227,061,187
希薄化後１株当たり当期利益の計算に用いられた普通株式増加数(株)	3,099,612	2,764,298
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	229,403,838	229,825,485
基本的１株当たり当期利益(円)	101.35	155.82
継続事業	96.17	148.04
非継続事業	5.19	7.78
希薄化後１株当たり当期利益(円)	99.99	153.94
継続事業	94.87	146.26
非継続事業	5.12	7.69
希薄化効果を有しないため、希薄化後１株当たり当期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	―	新株予約権１種類 (普通株式 86千株)

(注)当社は、2026年７月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的１株当たり当期利益及び希薄化後１株当たり当期利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。